



東区の皆さまと天使祭を実施して

天使大学 看護学科2年 葦の会 榊 千穂 本瀬 倫子

私たちは第58回天使祭において、東区保健センター・東区健康づくり連絡協議会の皆様のご協力をいただき、「健康相談」「東区音頭」を企画・実施させていただきました。今年度は、例年ご協力していただいていた「東区健康づくりパネル展」の規模を縮小し、代わりに「健康相談」の中で、東区に関するパンフレット、リーフレットを置かせていただく形での実施にご協力をいただきました。昨年の反省を踏まえ、早い時期から何度も打ち合わせを行い、企画の構成などについて話し合いを持つことができたので、当日もスムーズに進めることができたと思っています。

先に述べましたように、今年は「健康相談」の中で、パンフレットやちょっとしたグッズなどの配布を行っていく形をとりましたが、来場者の方にも大変喜んでいただいた印象がありました。「健康チェック」という、葦の会企画でのブースの中で、そうした健康に関するグッズを配布していただけたことはとてもよかったと実感しています。ほかに、昨年の反省を活かし、管理栄養士さん・保健師さんの相談時間をそれぞれ決めたことで、混雑している方と空いている方の差がないよう実施することができました。専門的なアドバイスを受けることができたので、来場者の方も健康に興味を持つ機会になったと思いましたが、大変楽しそうにして帰っていく方が多かったように思います。

今年度の「東区音頭」は悪天候でしたが、踊る時間には雨も一時止み、無事今年度も屋外で実施できることとなりました。天使大学の学生のみならず、一般の来場者にもご参加いただき、とても貴重な交流の場になりましたし、もちろん天使の学生にとっても、普段交流する機会の少ない東区の方たちとの交流ができる良い機会となりました。タッピーの登場も大変好評で、喜んで一緒に写真を撮ったり、タッピーのおかげで、踊りの輪の中に入ってきてくれた来場者の方の姿もうかがえました。

普段、自分たちが東区の学生だと意識する機会もほとんどありませんし、地域の方と交流する機会もほとんどありません。その中で、天使祭での東区の方と連携した企画は意味のあることになっていると思います。学科としても、看護学科・栄養学科ともに、地域の方にどのように健康に関心をもってもらうのか、意識を向けてもらうのか、自分たちの伝えたいことをどのような形で伝えていくかということに関して学ぶことができる機会になったと思っています。また、地域の方など、こちらの企画に参加していただいた方たちにも、健康を意識する機会になれば、大変うれしく思います。

最後になりましたが、このような場を設けてくださり、また企画・運営にご協力してくださった東区の皆さまに感謝申し上げます。今後も機会がありましたら、ぜひご協力いただけたらと思います。ありがとうございました。